

## 【校長室便り】

No. 18

平成30年7月10日(火) 土佐町小中学校 谷内直夫

### 夢の実現

私(谷内)の教え子の一人で、中学校時代に「夢」を語り、見事実現させている人物を紹介します。



## 『僕の野球への思い』

### 城北中学校3年 藤川球児

僕が野球を始めたのは、小学校3年生の時です。

きっかけは、僕の名前が『球児』ということが一つ、もう一つは父が野球をやっていたので、生まれたときから野球を見て育ったからです。そして、もう一つ付け加えるとしたら、僕を生んでくれた母を喜ばせたかったからです。

僕は小さい頃から喘息で苦しんできました。母は僕が発作を起こすと、どんなに夜遅くても病院に連れて行ってくれました。父と離婚してからも、僕を含め、4人の子どもたちのために夕方遅くまで働き、兄と僕には、費用も世話もかかる野球をずっとやらせてくれました。おかげで喘息の発作もほとんど起こらなくなり、母には本当に感謝しています。

僕はそんな母に夢を与えてあげたいです。



はじめに言った理由で、父とは一緒に暮らしていませんが、僕は父にも感謝しています。それは僕の名前のことです。ついこの間まで、僕は自分の『球児』という名前をなんだか漫画みたいでいやだと思っていました。でも今はいやじゃありません。それは、父が僕の名前の由来を語ってくれたからです。父は僕が生まれる前の日に野球の試合でノーヒットノーランを達成し、その翌日に生まれた僕に思いを込めて『球児』と名付けたそうです。



今まで僕は、本当はプロ野球選手になりたいという夢を心の中に持っていたのですが、周りの人から「将来の夢は？」と聞かれても「プロ野球選手になりたい」とは、一度も言ったことがありません。

多分、かなうかどうかかわからない夢を口に出すのが恥ずかしく、また、聞いた人に馬鹿にされるより言わない方がいいという、どこかに格好をつけた自分があったからだだと思います。でも父の話の聞いてからは、子どもに託した父の夢を、これからは僕自身の夢として、堂々と語れるようになりたいと思うようになりました。

考えてみれば、今までの僕は、野球だけでなく、勉強にしても良い成績を取りたいと思っていたくせに、できなかったときのために「やらない」という口実を先に作っていたと思います。結局はしんどいことから逃げただけなのです。

でも近頃の僕は、自分で言うのもおかしいけれど、少しは人間的に成長したと思います。

勉強や学校行事、学級の活動にも少しずつですが前向きな姿勢で臨めるようになってきました。こうして弁論大会の場に立つことも昔の僕なら考えられないことです。

僕が野球を始めてまだ7年にしかありませんが、この間、僕を支えてくれた人がたくさんいます。両親や家族はもちろんですが、小学校や中学校の野球の監督、励まし合い競い合ったチーム

の仲間、応援してくれた学校の仲間や先生方、そんな人たちの支えを忘れてはならないと思います。特に、練習中は厳しくて恐ろしいとしか思えなかった監督の、あの鬼のような言葉は、僕への期待と励ましの言葉だったんだと今やっと思えます。

この夏、優勝を心に誓って投げた中学校最後の大会で、僕の力が足りず1回戦で負けてしまいました。悔しくて悔しくて涙が出ました。後でいくらい試合だったと慰められても、よけい悔しさが増すばかりでした。スポーツは結果を出さなければだめだということを、このときほど感じたことはありません。

中学校では、僕は試合で金メダルを取ることはできませんでしたが、僕を支えてくれた人たちから、形には見えないけれど、かけがえのないメダルをたくさんもらったと思っています。

それらを心の財産として、今度は僕が形に見えるメダルを皆さんにお返しする番です。



今は若者が夢を持つ事が少ない時代だと言われますが、自分自身が夢を持たなくて、どうして人に夢を与えることができるでしょう。

僕はこれからもっともっと実力をつけて、将来きっと自分の夢である甲子園に出場し、プロ野球選手になって、世界中の人々の心に『夢』という名のメダルを贈り続けたいと思います。

## 平成7年 高知市中学校弁論大会より

この後、藤川君は高知商業高等学校に進学し、最初の夢である『甲子園出場』を果たしました。高校を卒業すると同時に、プロ野球のドラフト会議において『阪神タイガース球団』から1位指名を受けて、第2の夢である『プロ野球選手』になりました。「ワールドベースボールクラシック」の日本代表の一員として世界1に貢献しました。また、アメリカの大リーグのテキサスレンジャーズでプレーした後、高知ファイティングドッグスに電撃的に所属することになり、藤川投手は、オフィシャルブログで「生まれ故郷で、未来のスターになるチャンスを持った子どもたちに、僕が投げる姿を見てもらって、今後の夢につなげてもらいたい」と入団理由を説明した。

現在は「阪神タイガース」に所属し現役で活躍しています。

藤川選手は、日本の野球ファンに『夢』と『希望』だけでなく『感動』を与えることのできる選手として大活躍しています。日本中の人々の心に、3つ目の『夢』という名のメダルを贈り続けるために！

